

今週のビルマのニュース 2011年2月18日(1107号)
スーチー氏に警告、豪国籍の会社経営者逮捕、米外交公電

【ビルマ国内】

- ・ 国営紙は13日、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏と、氏が率いる国民民主連盟(NLD)が対ビルマ制裁についての見解を改めなければ「悲劇的な結末を迎えるだろう」とする論説を掲載した。NLDが8日に発表した制裁に関する声明を受けたもの(声明の内容については「今週のビルマのニュース」1106号を参照)。国営紙がスーチー氏を直接批判するのは、昨年11月に氏が解放されて以来、初めてのこと。
- ・ 週刊英字紙「ミャンマー・タイムズ」の最高経営責任者だったロス・ダンクリー氏(豪国籍)が11日、ラングーンで逮捕され、インsein刑務所に収容された。入管法違反容疑とのことだが、同紙の支配権をめぐる軍政と親しいビルマ人共同経営者ティントウンウー氏と争っていたとの情報もある。15日、ティントウンウー氏がダンクリー氏に代わり最高経営責任者に就任した。(15日 DVB ほか)

【国際関係】

- ・ ノルウェーのアフテンポステン紙が、ビルマ駐在米国大使館の外交公電を掲載した。2007年11月28日付の公電は、同年9月にデモ行進する僧侶に国軍が発砲等したことについて「[軍政トップ] タンシュエと[同二番手] マウンエイが命令した」という情報を国軍筋から得たとしている。また2008年5月8日付の公電には、その数日前に襲来したサイクロン「ナルギス」により甚大な被害が出ているのに軍政が外国からの支援受け入れを拒否しているのはタンシュエ上級大将の命令によるとしている(「注目アイテム」も参照)。

【政府開発援助(ODA)】

- ・ 草の根無償資金協力2件(ヤカイン州・マンダレー管区での学校建設)について大使館ウェブサイトに新着の見出し。日付や金額は不明。

【注目アイテム】

- ・ デモする僧侶への発砲について、2007年11月28日付米大使館公電(アフテンポステン紙掲載)
<http://www.aftenposten.no/spesial/wikileaksdokumenter/article4019502.ece>
- ・ サイクロン「ナルギス」被災者支援の受け入れ拒否について、2008年5月8日付米大使館公電(同上)
<http://www.aftenposten.no/spesial/wikileaksdokumenter/article4019507.ece>
- ・ 在日ビルマ人民民主化活動家団体(NDB)とアウンサンスーチー氏の電話会談の様相(11日)。
<http://www.youtube.com/watch?v=BZ4Q0omq7w0>

【イベント情報】([] 内は主催者。共催等は省略)

- ・ [ビルマ情報ネットワーク、ビルマ市民フォーラム、アムネスティ・インターナショナル] フォトジャーナリスト宇田有三報告会「ビルマの今ーそして、これから」(池袋・生活産業プラザ7階、19日18時～)
★昨年11月の総選挙投票の様子や、アウンサンスーチー氏軟禁解除の瞬間などの写真を紹介。
- ・ [アジアを知ろう映画祭 <http://ajia-eiga-sapporo.jimdo.com>] 『ビルマ・ガーデン!』(北海道大学歯学部講堂、26日)10時半「ビルマ、パゴダの影で」/13時「ピュア～難民キャンプのこどもたち」上映・ココラットさん講演『ビルマ難民と未来』/14時45分「ビルマ VJ」/16時30分「ビルマ、パゴダの影で」/18時～ココラットさん講演『本当のビルマを知ってください』/18時45分「ビルマ VJ 消された革命」
- ・ [TAMA 映画フォーラム実行委員会 <http://www.tamaeiga.org>] 特別上映会『ビルマ VJ』(多摩市立永山公民館内 ベルブ永山、3月19日11時～、13時～、16時～、18時～/4回上映)

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>